

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護とリフレクション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2～3年		学期及び曜時限	通年	教室名	3年生教室・視聴覚教室
担 当 教 員	下田基代枝	実務経験とその関連資格	医療施設での勤務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
看護活動は、対象者にあらわれる変化をもって、評価をされる。実習で行った看護が対象者のために効果的であったのか、なにが根拠となったのかリフレクションを行うことで明らかにする。その結果を次の実習へつなぐことで、学びを深める。						
《成績評価の方法と基準》						
課題点(課題提出は期限内に必ず行うこと)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
振り返りシートの利用						
《授業外における学習方法》						
自己の記述した文章を客観的に読み返し、論理的な思考をもって振り返る。						
《履修に当たっての留意点》						
疑問点は積極的に質問し、理解を深めてください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実践したことを主観的、客観的に振り返ることができる。		教科書、シラバス、タブレット	授業前迄に、シラバスを読んでおく
		各コマにおける授業予定	実習で行ったこと、起こったこと、その原因を振り返り、文章化する。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実践したことを主観的、客観的に振り返ることができる。		教科書、タブレット	復習
		各コマにおける授業予定	実習で行ったこと、起こったこと、その原因を振り返り、文章化する。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実践したことを主観的、客観的に振り返ることができる。		教科書、タブレット	復習
		各コマにおける授業予定	実習で行ったこと、起こったこと、その原因を振り返り、文章化する。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実践したことを主観的、客観的に振り返ることができる。		教科書、タブレット	復習
		各コマにおける授業予定	実習で行ったこと、起こったこと、その原因を振り返り、文章化する。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	実践したことを主観的、客観的に振り返ることができる。		教科書、タブレット	グループの意見のまとめ、(プロジェクト学習の方法について)
		各コマにおける授業予定	実習で行ったこと、起こったこと、その原因を振り返り、文章化する。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	教科書、タブレット	プロジェクト学習について、進め方など修正・変更等しグループで意見を纏めておく。発表の準備
		各コマにおける授業予定		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	教科書、タブレット	プロジェクト学習について、進め方など修正・変更等しグループで意見を纏めておく。発表の準備
		各コマにおける授業予定		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	教科書、タブレット	授業のポイントを纏める。
		各コマにおける授業予定		